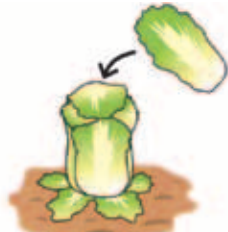


結球ハクサイの 収穫と防寒対策



しおれた大きな外葉を
3〜4枚重ねて帽子に



ポリひもや縄わらで
外葉をまもめて縛る



新聞紙に包んで冷暗所に



軒先や竹林・樹林の下に
根元を上に向けて並べる

晩秋に入ると大きく育った結球ハクサイの収穫期に入ります。球の頭の方を手のひらで押さえて、硬くなっていたら収穫の適期入りです。

上手に育てたつもりでも、株によって球の締まり具合はかなりばらつきが出るので、出来上がったものから順次収穫しましょう。

そして、結球を終えた株がかなり残った場合には、畑でそのままにしておくより、厳しい霜や寒風にさらされて、球の頂部の柔らかい葉や外葉が力サカサになり、球がやせて、やがてそこから腐り込んだりして、せっかく丹精込めて育てたハク

サイが食べられなくなってしまいます。

未収穫のものは防寒対策を上手にして長い間利用できるようにしたいものです。

畑での一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めてきたころ、すでに収穫した株の、畑に残されたしおれた葉（できるだけ下葉の大きいものがよい）を拾って、球の頭上に3〜4枚覆っておく方法です。しおれた葉ですから帽子のようにかささり、風で飛ばされにくいので好都合です。飛ばされたらまた掛け直します。

もう少し長く置きたい場合は、なるべく多くの外葉で球を包むようにしてポリ

ひも、稲わらなどで縛っておきましょう。ハクサイが勢い良く育っている間は葉が折れたり、破れたりして作業しにくいですが、多少霜に遭い、葉の水分が少なくなってしまう方がやりやすいと思います。

べた掛け資材（不織布）があればそれを2〜3枚重ねにして、風で飛ばされないように工夫して覆っておくのも一つの方法です。プラスチックフィルムは、ハクサイに直接触れていた場合、覆われなかったものよりも低温になり寒害を受けやすいため、使わないでください。

畑から収穫して貯蔵するには、少量なら四つ切りくらいにカットし、ラップで密閉して冷蔵庫に収めます。球を丸のまま保存するには新聞紙に包んで冷暗所

「JA版農業電子図書館を」つかってみよう!!

当JAでは、病害虫や雑草、農業など生産に関する情報が簡単に検索できる、タッチパネル式の情報端末「JA版農業電子図書館」を窓口相談機能の充実と、迅速な指導や最新情報の提供等、組合員サービスの向上を図るため、営農施設に設置しています。

皆様のご利用をお待ちしております。

*設置店舗：総合営農経済センター
片貝営農センター
千田園芸資材センター



病害虫・雑草診断など簡単に操作できます!!
探したい項目を指でタッチ!!

に置きましよう。

多数の株を長時間、品質良く貯蔵するには、畑から太根をつけたまま掘り取り、竹林や樹林の下、あるいは作業倉の軒先など直接霜の当たらないところに根元を上にして並べておきます。腐り始めた株は早めに発見して取り除き、隣の株に伝播（でんぱ）しないよう心掛けましよう。

板木技術士事務所 ● 板木利隆